

平成25年度 小学校教職員を対象とする環境教育研修会 実施報告  
「やってみよう！環境学習プログラム」第6回「昔から学ぶ」

(テーマ：生活)

□実施日時 平成25年8月22日（木）

□受講者数 17名

□実施場所 深川江戸資料館

□実施内容

**【午前】**

**1. 事務連絡・開講挨拶等**

- ・事務局（研究所）から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・環境局環境政策課（企画調整係 樋口主任）より開講挨拶等

**2. ゲストティーチャーからの講義・講話**

（担当：「高橋建築設計」一級建築士 高橋正則）

深川江戸資料館展示施設を活用して、江戸時代の暮らしから、季節に合った生活の形態、暑さ寒さをしのぐ知恵や、リサイクルの知恵などを、ごみとして廃棄するものを極力少なくする生活形態を江戸時代の街並み、生活空間を再現している展示施設で深川江戸資料館の設計者でもある講師から説明を受けながら仮想体験した。

**【午後】**

**3. 環境学習プログラム「昔の暮らしから学ぶ」**

（担当：特定非営利活動法人 環境学習研究会 谷村春樹理事長）

**(1) 「昔の暮らしから学ぶ」模擬授業**

- 昔から活用されている「ふろしき」、今のようなレジ袋や紙袋にかわる「ふろしき」の利用方法の説明と、どんなものでも包めて、現代でも十分に活用できるふろしきでの「包み方」を知り、レジ袋などの使い捨てについて考える。
  - ・ビーチボールのような包みにくいものを包んでみよう。
  - ・一升瓶のような重いものを包むには。
  - ・持ちやすい包み方、ほどけない結び方。

**(2) まとめ（質疑応答及び発表、受講者同士の情報交換）**

この日の研修を通じて、気づいたこと、感じたこと、授業での活用方法や各学校で実施した関連事例等について、受講者が一人ずつ発表し、講師がコメントをして、受講者間で情報を共有した。

今回は、教育の現場で実施するうえで様々な切り口が考えられる「昔からまなぶ」をテーマとした研修であり、家庭科や社会科などの授業にも密接に関係していることから多様な授業への試みについて意見やアイデアが出された。

#### 4. 事務連絡、アンケート記入等 (事務局)

【研修の様子】



